川崎市立千代ヶ丘小学校

令和8（2026）年10月30日

学 校 だ よ り　１１月号



互いを尊重し 心をつなぐ

校 長　毛利　友紀

日中は秋晴れの心地よい日が続いておりますが、朝晩は肌寒くなってまいりました。後期始業式では、一人一人がそれぞれ目標をもつことについて話しました。大きな行事が目白押しの後期ですから、改めて、千代っ子みんなの目標「大好き　千代ヶ丘　自分から〇〇のために　やってみよう」を意識して頑張ってほしいと伝えました。

10 月 20 日実施の１・２年生のよみうりランドへの遠足では、たくさんの保護者ボランティアの方々にご協力をいただきましたこと、心より感謝申しあげます。敷地内のグループ活動では「離れ離れにならない」という約束を守り、互いに友達のことを気に掛けながら楽しもうとする姿が見られました。乗り物から笑顔で手を振ったり、歓声をあげたりする様子を見て、こちらも嬉しくなりました。終わりの会で「楽しかった」と話す子どもたち、「大成功だったのは誰のおかげかな？」と尋ねると、「おうちの人や先生のおかげ」、それだけでなく「実行委員さんのおかげ」、１年生からは「２年生のおかげ」、２年生からは「１年生のおかげ」という答えまで返ってきました。「〇〇のために」と行動した子たちだからこそ、「〇〇のおかげ」に気付くことができたのだろうと感じました。こうした「ありがとう」と感謝し合える関係こそが、互いを尊重し合う温かなつながりの原点であると改めて実感しました。

11 月 7 日開催予定の運動会に向けては、運動会本部実行委員や高学年を中心に準備を進め、子どもたちが決めたスローガン「力をあわせて最高に楽しい思い出にしよう!!」も２階の渡り廊下に掲げられました。体育館や校庭では全校や低・中・高学年別での競技や演技の練習も熱心に行われています。練習期間中、地域の皆様には大きな音でご迷惑をおかけしておりますが、温かく見守ってくださっていることに感謝申しあげます。運動会を前に児童から意気込みを聞いてみますと、「リレーを頑張りたい」「最後まで応援して盛り上げたい」といった声が返ってきました。運動会は順位や勝敗という結果だけでなく、「挑戦」「協力」「思いやり」を学ぶ場でもあると考えます。勝ちを喜びながらも、真剣に戦ってくれた相手への賞賛や、負けても人のせいにしたり、相手を悲しませたりするような言葉を言わないといった思いやりをもつことも大切です。運動会では勝敗がつきものですが、相手チームへの感謝と敬意も忘れないようにしてほしいものです。今年開催された冬季五輪やサッカーW 杯の選手達のような、スポーツマンシップあふれる振舞いを期待しています。本番では精一杯頑張る子どもたちに向け、保護者の皆様からの温かいご声援をお願いしますとともに、10 月 20 日配付の「令和 8 年度千代ヶ丘小学校運動会のお知らせ」をご覧いただき、皆様が互いに気持ちよく観覧できますようご協力をお願いいたします。

11 月 17,18 日には 6 年生が修学旅行で日光へ出かけます。「礼儀やマナーを大切に　メリハリをつけ　みんなで協力して　修学旅行を全力で楽しもう！」こちらも児童が考えたスローガンです。見分を広めるだけでなく、集団行動を通して自律心やお互いを思いやる心を育み、かけがえのない思い出づくりをしてきてほしいと思います。なお、修学旅行専用列車が南武線を経由していくのは今年度までとなり、令和 9 年度からは川崎駅から東京を経由した専用列車となります。

11 月 20 日は「かわさき子どもの権利の日」と定められ、それに合わせて本校でも「一人一人を大切にする週間Ⅱ」を予定しています。これは「一人一人がかけがえのない大切な存在」ということを確認し、人権尊重への取組や理解を推進するためです。子どもにとって「人権」というと難しく聞こえるかもしれませんが、「自分を大切にすること、そして友達を大切にすること」ということを学びます。嫌な言葉を使わない、友達の意見や違いを認める、困っている人がいたら手を差し伸べる、そんな小さな思いやりの積み重ねが、この学校を居心地のよい場所にします。遠足での「〇〇のおかげ」への気付きや、運動会・修学旅行に向けて協力する姿は、まさにこの人権の学びそのものです。今月はいつも以上に周りの友達への優しい言葉や笑顔がたくさん見られるよう願っています。

「あ、そうっか　麻生区長寿日本一」11 月号（麻生区役所地域みまもり支援センターより）
１１月１５日は七五三。平安時代（今から１０００年以上前）から続けられている行事です。これまで元気に大きくなったことをお祝いする日です。これからも、好ききらいせず食べて（食事）、外で元気に遊び（運動）、早寝・早起き（睡眠）を続けて、心も体も元気にすごしましょう。